

# 福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成28年7月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

## 地域の皆さまにご安心していただけるよう 燃料の安定冷却と管理をしっかりと行います

このたび、6月30日付で所長に就任した石井です。

当社原子力発電所の事故から5年以上が経過し、いまだ大変多くの方々にご迷惑とご心配をおかけしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

当所は、立地地域をはじめ、社会の皆さまにご安心していただけるよう、発電所にある燃料の安定冷却のため、今後もしっかりと設備の維持・管理や安全の確保に努めてまいります。

また、緊急時にも対応できる組織や人づくりに、所員一丸となって全力で取り組んでまいります。

万が一、発電所でトラブルが発生した場合には、収束のため迅速に対処するとともに、その状況について皆さまに分かりやすく丁寧にお伝えしてまいります。

私は、この浜通りで勤務するのが、通算で20年目になりました。

子育てもしてきたこの地域は、私や家族にとって、第二の故郷だと思っております。

今までお世話になった地域の皆さまのお役に立てるよう、しっかりと責任を果たしてまいります。



福島第二原子力発電所  
所長 石井 武生

## 原子力災害に備えた訓練を 繰り返し実施しています

○原子力災害に備えた訓練を、毎月1回計画的に実施しており、今年度3回目となる訓練を6月29日に実施しました。

○緊急時には、役割に応じた班体制になります。それぞれの班は、プラント状況の情報収集や地震の影響で停止した燃料冷却の復旧にあたるなど、連携をとりながら訓練に取り組みます。



○刻々と変化する発電所の状況については、タイムリーに関係機関へ通報などを行いますが、その役割は、通報班と広報班が担っています。今回は、震度6強の地震や火災の発生などのシナリオをもとに立地町や関係機関などへ、その状況を速やかに通報し公表する訓練を行いました。緊急時の発電所の情報を正確、迅速に発信していくため、訓練を重ねていきます。



## 熱中症の防止などに向けた 取り組みを強化しています

- 日増しに暑さが厳しくなってくる7月、「夏期安全活動強化運動」として、熱中症予防などの取り組みを強化しています。
  - 強化期間中は、垂れ幕やパンフレットで所員や協力企業作業員へ取り組みの周知、発電所幹部によるパトロールでの声掛けで、意識を高めています。
  - 毎朝、WBGT\*の予報最高値を所内で情報共有するとともに、作業現場へ赴く際に目に留まりやすいよう、建物の入り口などに熱中症の危険度の目安がわかる熱中症指数モニターを設置して、注意喚起をしています。
  - また、経口補水液や冷却スプレーなど、誰でも手軽に利用できるよう、休憩所などに配備するとともに、クールベストの着用も推奨しています。
  - このような注意喚起や対策で、熱中症の発生を予防します。
- \*WBGT：熱中症の危険度を判断する数値（環境省ホームページより引用）



朝のミーティングでWBGTを共有



熱中症指数モニターと注意喚起



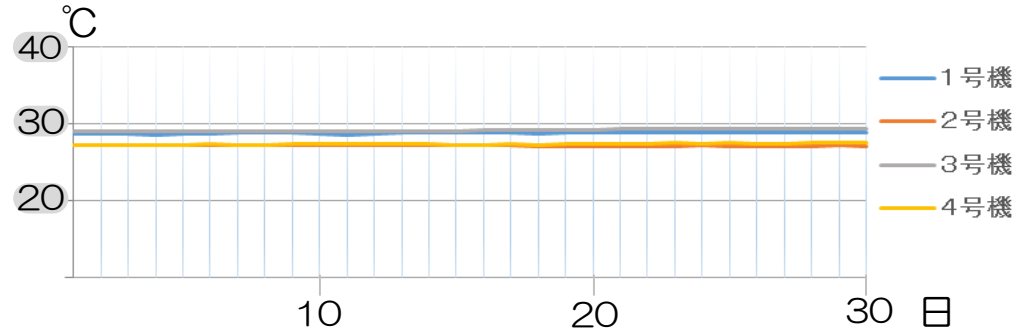
熱中症対策グッズ



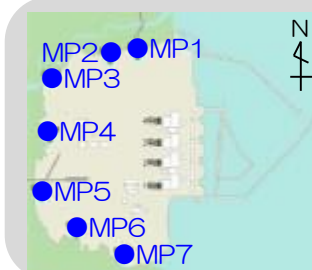
保冷剤とクールベスト

## 燃料の冷却状況(6月分)

使用済燃料プール水の温度は、30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。



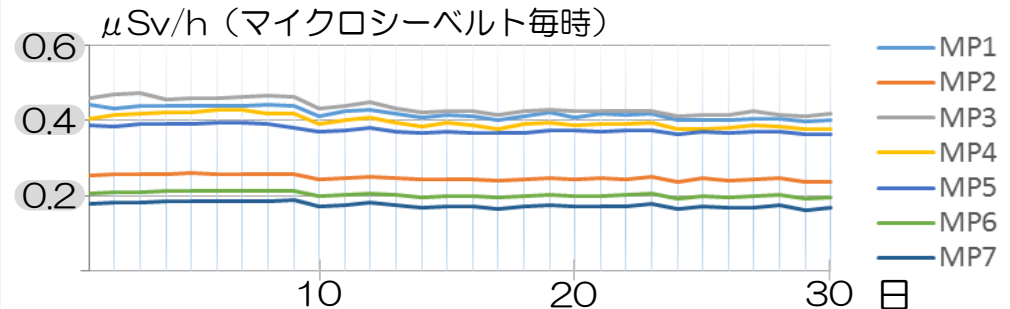
## 発電所周辺の放射線量計測状況(6月分)



構内に設置している全7基のモニタリングポスト(MP)により敷地周辺における空気中の放射線量の測定を常時行っています。

### ◇天気と放射線の関係について

空気中の放射線量については、天気によって変動します。一般に、雨が降ると空気中の自然の放射性物質が地表に落とされ上昇します。一方、雨による水たまりや積雪ができると、大地からの放射線が水や雪によって遮られ低下します。



これまでの使用済燃料プール水温度やモニタリングポストの計測状況については、当所ホームページをご覧ください。

ホームページURL

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

QRコード



福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き燃料の安定冷却を継続してまいります。

【お問い合わせ】福島第二原子力発電所 企画広報グループ  
tel 0240-25-1353 受付時間(平日)午前9時～午後5時